

情報連絡員報告を中心とした

県内の中小企業動向

12月

■パン製造

【県下全域】  
新型インフルエンザ等の影響により、給食・パン・米飯の納入回数が減少したため、売上減となっている。

■味噌製造

【県下全域】  
県下の味噌出荷量は、1月～11月累計で前年比91・8%。数量で1911トン減。

■製材

【県下全域】  
住宅着工戸数の減少が続き、木材需要は低迷している。さらに木材単価の下落も続き、厳しい状況である。

■製材

【木更津】  
国内の販売が伸びず、輸入原木を減らして在庫調整に努めている。

■印刷

【県下全域】  
12月の売上高は前月と同様。官・民需共に低空飛行のまま。統計数値は一部輸出が好転した結果僅かに改善したが、政府がデフレ宣言をした内需はマイナス。

■電気鍍金

【県下全域】  
景況は年末に入り悪化している。先行きの不安定感が強く、受注量も減少してきている。次年度

の計画も未定でこの悪い景況が続くとすると、年度末は大変である。

■鉄工

【千葉】  
デフレの台頭、急激な円高によりムード悪化。建設機械関連等一部に明るさがみられるものの、低操業下での厳しさから容易に脱出できない。

■機械部品製造

【野田】  
1月以降の受注内示が減少傾向にあり、年初より厳しい状況がうかがえる。

■機械部品製造

【流山】  
12月は、年末年始の休暇のため見込み発注が前月と同程度の様子。しかし、仕事量が少ないので雇用調整助成金を活用して、早めに休暇になった企業が何社かある。

■採石

【県下全域】  
羽田D滑走路建設工事については、築堤工事が終わり岩スリの需要が一段落した。今後は横浜港南本牧コンテナ埠頭増設工事や東京都の最終処分場造成工事に期待をかけている。

■総合卸

【千葉・東京】  
我々は羽田空港のハブ化を一層推進するために第5滑走路の早期着工に期待している。

■総合卸

【千葉・東京】  
第3四半期は前年比でさらに悪

化。回復の兆しが見えない。

■食肉卸

【千葉市他】  
例年12月は増加するのにも、本年は変化なし。

■建築材料卸

【県下全域】  
景況は更に悪化の一途、需要払底で先行きが見えず、とても年末とは思えない冷え切った状況。

■小売

【柏】  
低価格現象が続いている。大型店による、商品価格の大幅な割引、買上げに比例したキャッシュバック等が珍しくなくなり、体力的に追従できない中小小売店は、経営危機を感じている。

■電気機器小売

【県下全域】  
12月当初は、メーカーが欠品を起すほどの動きがあったが、徐々に戻つてきた傾向。月末には前年を割るような状態。

■青果小売

【千葉】  
年末の商品も様変わりして大きな変化が見込まれる。

■小売

【大網白里町】  
消費者の購買意欲が単価・数量ともに更にシビアになってきた。

■中古車販売

【県下全域】  
年末商戦は不発必至。暮のボーナス支給の低水準、加えて新車支援策の影響で直販は好転のきつ

けすらつかめない。

■小売

【東金】  
景況悪化にともない、ボーナス減額等の影響で、更に一段と節約志向が高まってきている。ギフトも価格が低下し、年末にはパッケージも始めているところも出てきている。年が明けてからの販売体制に影響が出そう。

■小売

【野田】  
年末らしい人の動きは、月の終わりにようやく出てきたが、縮めてみれば前年同月比でマイナスという結果になった。不況ムードが蔓延している。

■農業機械販売

【県下全域】  
新政権の予算格が示され、予算がマニュアルとの整合性の中でどう実行に移されるのか。農機への投資行動は、先行き不透明な中では積極的には動けない。

■自転車小売

【県下全域】  
自転車の販売状況は依然として厳しいが、修理は順調のようです。

■小売・サービス

【柏市】  
商店街への来街者数の減少、特に年末押し詰まってからの人出が少なくなっているように感じた。スパーの人出も減少しているようだ、例年駐車場待ちの渋滞も31日以外ほと

■建設揚重

【県下全域】  
一段と厳しい状況が続いている。需要がないため、価格も下げる傾向。

■害虫防除

【県下全域】  
12月に入って利益が減少。蜂駆除業務が無くなり、ネズミ等の増加が目立ってきている。

んど感じなかった。

■遊覧船

【鴨川】  
9月まではアクアライン効果があつたが、10月以降はギリ貧の状態。

■一般廃棄物処理

【千葉】  
年末だけに、前月より仕事量が増えたが、例年と比べると減っている。

■学習塾

【県下全域】  
冬期講習の受講者は前年と変化なし。

■ソフトウェア

【県下全域】  
引き続き厳しい状況。

■水道管工事

【県下全域】  
昨年より受注額が増加し、前払金で、当面の資金繰りをしのいでいる。

■貨物運送

【野田】  
前月に比べても輸送量は減っている。昨年と比べるとかなり減少している。